

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	・特に冬場は外出の機会や運動の機会が減っている。 グループ内の広い空間を運動等に十分活用できていない。	・日中の暖かい時間に散歩を行い、外気浴ができる。 ・個々に合った運動や外出ができ、自力歩行や立位が維持できる。 ・外出することで気分転換が図れる。	・日中暖かい時間にバイタルに異常がなければ、散歩に出かける。 ・デイサービスの機器を使って運動を行う。 ・事業所内の広い空間を利用して、1丁目、2丁目ユニット合同の運動を行う。	3ヶ月
2	2	・事業所が地域の一員としての位置づけができていない。	・職員は地域の行事やボランティア活動に参加し、地域の方と交流を図る。 ・事業所の活動に地域の方に参加してもらう。	・地域の行事(マラソン、敬老会、ごみ拾い)に職員ができるだけ多く参加する。 ・町内会への加入を検討する。 ・施設内の地域交流スペースを活用し、研修会等を開催して、地元の方に参加してもらう。	6ヶ月
3	3	・運営推進会議に家族や地域の方の出席が少ない。	・毎月の事業所便りで運営推進会議の報告や参加の案内を行う。 ・地域の民生委員、区長、老人会の方に参加してもらう。	・家族への毎月の便りに、運営推進会議について報告し、出席依頼を行う。できるだけ複数の家族に参加してもらう。 ・地域の区長や老人会の方々と日頃から交流する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月